

平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 伊藤忠食品 株式会社

上場取引所 東

コード番号 2692 URL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 濱口 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経営企画部部长 (氏名) 奥川 洋介

TEL 03-3270-7630

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	170,377	—	2,424	—	2,453	—	1,822	—
20年9月期第1四半期	163,750	2.1	2,480	12.6	2,577	7.8	1,484	2.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	142.06	141.98
20年9月期第1四半期	113.97	113.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第1四半期	223,669	53,454	23.9	4,164.97
20年9月期	173,041	52,580	30.4	4,097.10

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 53,432百万円 20年9月期 52,562百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	30.00	—	30.00	60.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	300,000	—	2,020	—	2,200	—	1,570	—	122.38
通期	619,000	2.4	4,630	9.2	5,140	18.7	3,230	73.9	251.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名)) 除外 一社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 13,032,690株 20年9月期 13,032,690株

② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 203,681株 20年9月期 203,610株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 12,829,057株 20年9月期第1四半期 13,023,401株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提のもとで、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2.当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国発の金融危機の影響による景気減速が世界経済全体に波及したことから、株価下落や円高が進み、輸出産業を中心に企業収益を圧迫し、経済環境は急激に悪化しております。

食品流通業界におきましても、雇用・所得環境の悪化を背景に、消費者の生活防衛意識の高まりにより消費がより一層冷え込むものと予想されます。

このような状況下、当社グループは中核事業であるスーパー、コンビニエンスストアなどとの取引深耕を進めるとともに、新たな取引業態としてWebネットワーク分野へのビジネスモデル構築、付加価値商品の開発・開拓などへの取り組みを開始いたしました。

当第1四半期の連結売上高は、前期比較4.0%(66億27百万円)増加の1,703億77百万円となりました。これはスーパーなど組織小売業との取引拡大によるものです。

営業利益は前期比較2.3%(56百万円)減少の24億24百万円となりました。この要因は、売上総利益率の改善は見られたものの、物流関連費用ならびに業務効率化に対する先行費用などの経費増加によるものです。

経常利益は、前期比較4.8%(1億24百万円)減少の24億53百万円となりました。これは、営業利益の減少と、前期設立の新設子会社の先行費用などによる持分法損益が当初予定の範囲内で納まっているものの前期比較では悪化したことによるものです。

四半期純利益は、前期比較22.8%(3億38百万円)増加の18億22百万円となりました。これは、上記理由に加え投資有価証券の売却による特別利益の計上が主な要因であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,702億64百万円となり、前連結会計年度末に比べて503億72百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が344億85百万円、譲渡性預金の増加により有価証券が60億円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,663億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ488億99百万円増加しました。これは、支払手形及び買掛金が468億1百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は534億54百万円となり、前連結会計年度末と比べて8億73百万円増加となりました。これは、利益剰余金が14億37百万円増加したことおよびその他有価証券評価差額金の減少などによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は266億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億29百万円増加となりました。

当四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億32百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益34億19百万円、仕入債務の増加額468億1百万円などの収入と、売上債権の増加額344億85百万円、たな卸資産の増加額68億4百万円および法人税等の支払額12億35百万円などの支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億5百万円の収入となりました。主な要因は投資有価証券の売却による収入20億円と有形固定資産の取得による支出11億30百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億8百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額3億84百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の年度中の取得、売却および除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算にもとづく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から早期適用し、当第1四半期連結会計期間から、通常の売買取引に係る会計処理によっており、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

また、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っております。

なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,168	14,738
受取手形及び売掛金	103,988	69,502
有価証券	10,500	4,500
商品	17,982	11,177
その他	22,135	20,426
貸倒引当金	△510	△455
流動資産合計	170,264	119,891
固定資産		
有形固定資産	25,600	23,576
無形固定資産		
のれん	10	11
その他	845	747
無形固定資産合計	856	759
投資その他の資産		
投資有価証券	16,736	18,808
その他	10,377	10,181
貸倒引当金	△166	△174
投資その他の資産合計	26,948	28,815
固定資産合計	53,405	53,150
資産合計	223,669	173,041
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	154,262	107,461
未払法人税等	1,382	1,218
賞与引当金	436	1,091
役員賞与引当金	15	43
その他	10,274	7,657
流動負債合計	166,371	117,472
固定負債		
退職給付引当金	441	444
役員退職慰労引当金	14	14
設備休止損失引当金	188	209
その他	3,197	2,320
固定負債合計	3,842	2,988
負債合計	170,214	120,460

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,163
利益剰余金	40,403	38,966
自己株式	△611	△611
株主資本合計	51,878	50,441
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,553	2,121
繰延ヘッジ損益	—	△0
評価・換算差額等合計	1,553	2,120
新株予約権	22	18
純資産合計	53,454	52,580
負債純資産合計	223,669	173,041

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	170,377
売上原価	152,167
売上総利益	18,210
販売費及び一般管理費	15,786
営業利益	2,424
営業外収益	
受取利息	46
受取配当金	107
不動産賃貸料	98
その他	29
営業外収益合計	282
営業外費用	
支払利息	8
不動産賃貸費用	60
持分法による投資損失	173
その他	10
営業外費用合計	252
経常利益	2,453
特別利益	
投資有価証券売却益	967
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	1
特別利益合計	969
特別損失	
固定資産除却損	3
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	3,419
法人税、住民税及び事業税	1,364
法人税等調整額	232
法人税等合計	1,597
四半期純利益	1,822

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,419
減価償却費	379
持分法による投資損益 (△は益)	173
投資有価証券売却損益 (△は益)	△967
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△639
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0
受取利息及び受取配当金	△154
支払利息	8
固定資産除売却損益 (△は益)	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,804
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,997
差入保証金の増減額 (△は増加)	△68
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,801
未払金の増減額 (△は減少)	2,773
その他	△144
小計	8,339
利息及び配当金の受取額	139
利息の支払額	△9
法人税等の支払額	△1,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,232
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,130
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△172
投資有価証券の取得による支出	△31
投資有価証券の売却による収入	2,000
その他	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	605
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△384
その他	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,429
現金及び現金同等物の期首残高	19,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,668

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年10月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	163,750
II 売上原価	146,516
売上総利益	17,234
III 販売費及び一般管理費	14,753
営業利益	2,480
IV 営業外収益	280
V 営業外費用	183
経常利益	2,577
VI 特別利益	31
VII 特別損失	8
税金等調整前四半期純利益	2,600
税金費用	1,116
四半期純利益	1,484

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年10月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,600
減価償却費	311
売上債権の増減額(増加は△)	△22,491
たな卸資産の増減額(増加は△)	△6,507
仕入債務の増減額(減少は△)	26,700
法人税等の支払額	△873
その他	63
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△852
無形固定資産の取得による支出	△27
投資有価証券の取得による支出	△71
投資有価証券の売却による収入	29
その他	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△390
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△390
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△1,463
V 現金及び現金同等物の期首残高	27,720
VI 現金及び現金同等物の期末残高	26,256

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成19年10月1日～12月31日）

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（平成19年10月1日～12月31日）

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（平成19年10月1日～12月31日）

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

6. その他の情報

①商品分類別売上高

(単位：百万円、%)

商品分類	当年同四半期 (平成21年9月期第1四半期)		前年同四半期 (平成20年9月期第1四半期)	
	金額	構成比	金額	構成比
ビール	35,491	20.8	31,111	19.0
和洋酒	25,334	14.9	23,558	14.4
調味料・缶詰	28,911	17.0	28,079	17.1
嗜好・飲料	30,116	17.7	30,318	18.5
麺・乾物	14,072	8.3	14,015	8.6
冷凍・チルド	7,840	4.6	8,002	4.9
ギフト	22,884	13.4	23,199	14.2
その他	5,725	3.3	5,465	3.3
合計	170,377	100.0	163,750	100.0

(注) 「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。
 なお、前年同四半期の「和洋酒」に含まれていたビール風アルコール飲料(第3のビール)につきましては、当年同四半期の基準に合わせるため、売上高5,019百万円を「和洋酒」から減額し「ビール」に加算しております。

②業態別売上高

(単位：百万円、%)

業態	当年同四半期 (平成21年9月期第1四半期)		前年同四半期 (平成20年9月期第1四半期)	
	金額	構成比	金額	構成比
卸売業	30,658	18.0	33,211	20.3
百貨店	13,817	8.1	14,989	9.1
スーパー	91,254	53.6	83,573	51.0
CVS・ ミニスーパー	19,328	11.3	19,123	11.7
その他小売業	8,253	4.9	6,022	3.7
メーカー他	7,065	4.1	6,830	4.2
合計	170,377	100.0	163,750	100.0